

文教フォーラム
「コロナ禍における市民活動と大学生の関わりの可能性」

【趣旨】

新型コロナウイルスは私たちの生活全般に大きな影響を及ぼしています。市民活動や学生活動も制限を受け、従来までできていたことができなくなり、社会や人とのつながりも希薄化しました。一方で、コロナでできないことに従来とは異なる形で何とか対応していくという努力が続けられ、新しい技術により新しい出会いも生まれたりしています。

本フォーラムでは、コロナ禍における市民活動の変化や新しい活動の試みの紹介、そして、そうした市民活動に授業の一環として参加した学生たちによる活動報告と受入先団体によるフィードバックをおこないます。これらを通じて、総合討論では、コロナ時代、及びポストコロナ時代における市民活動実践者と学生がどのように連携しうるか、いかなる学びや貢献が双方にありうるかを検討していきます。

【日時】2021年3月18日（木）12:30～14:30

【実施方法】Zoom（参加をご希望の方は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください）

【プログラム】（敬称略）

12:30	開会のあいさつ 林薫（文教大学国際学部）
第1部 市民活動の報告	
12:35～12:55	「えのすい×成人式を企画する——オンラインサロンにおける問題意識と行動力」 廣田純也（「湘南オンラインLAB」代表）
12:55～13:15	「音楽・アートのオンラインの可能性——ワカモノ×市民活動コラボ希望！」 清水友美（「湘南 SHOW 点」代表）
第2部 学生によるサービ斯拉ーニング活動の報告と受入先団体によるコメント	
13:20～13:35	「コロナ禍におけるオンラインイベントのあり方」 イ・カンキュ、小野大旗、前田和佳奈（文教大学国際学部「こどたん」班）
13:35～13:45	コメント 中野有子（茅ヶ崎市民活動サポートセンター長）
13:45～14:00	「学校における子どもたちの動機付け不足や心身の環境的問題を解決するためには」 アン・ジェヒョン、渡辺郁斗（文教大学国際学部「こども応援丸」班）
14:00～14:10	コメント 津田眞利（特定非営利活動法人「こども応援丸」理事長）
14:10～14:30	総合討論 「コロナ禍における市民活動と大学生の関わりの可能性」
14:30	閉会のあいさつ 渡邊暁子（文教大学国際学部）

【主催・お問い合わせ】文教大学国際学部 渡邊暁子（watanabe@bunkyo.ac.jp）

林 薫（hayashi@bunkyo.ac.jp）

※本フォーラムは、文教大学国際学部共同研究費の協力を得ています。